

授 業 科 目 名	教育制度論	教 員 名	橋口 泰宜	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科 目 番 号	SEN301	配当年次	3年後期	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	2単位				幼保コース	必修
科 目 目 的	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）（幼稚園、小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項					
科 目 目 的						
系 列						
一 般 目 標	<p>(1-1)教育に関する社会的事項 社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解する。</p> <p>(1-2)教育に関する制度的事項 現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付けるとともに、そこに内在する課題を理解する。</p> <p>(1-3)教育に関する経営的事項 学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解する。</p> <p>(2)学校と地域との連携 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。</p> <p>(3)学校安全への対応 学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。</p>					
到 達 目 標	<p>(1-1)教育に関する制度的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)公教育の原理及び理念を理解している。</li> <li>2)公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。</li> <li>3)教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。</li> <li>4)教育制度をめぐる諸課題について例示することができる。</li> </ol> <p>(1-2)教育に関する経営的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。</li> <li>2)学校における教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解している。</li> <li>3)学級経営の仕組みと効果的な方法を理解している。</li> <li>4)教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方や重要性を理解している。</li> </ol> <p>(2)学校と地域との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。</li> <li>2)地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。</li> </ol> <p>(3)学校安全への対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。</li> <li>2)生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解している。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、4. 教育に関連					

	<p>する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>
<p>授 業 の 概 要</p>	<p>全体目標 現代の学校教育に関する社会的、制度的及び経営的事項に関する基礎的な知識を習得し、関連課題を理解する。また、学校と地域との連携及び協働に関する理解及び学校安全に関する基礎的知識の習得に努める。</p> <p>学校の語源の歴史的理解から始まり、近代及び現代における公教育制度の成立と展開及び変容にの過程を理解する。そして教育制度の現状と問題、及び今日の教育改革動向を考察して、日本における公教育制度の特質と改革課題について、歴史的ならびに国際比較の観点から考える。</p> <p>授業形態は講義とする。アクティブラーニングとして、振り返り、レポート等を取り入れる。</p>
<p>授 業 計 画</p>	<p>第1回：教育制度を考える学習意識の喚起とオリエンテーション 今日の教育問状況と今日の教育制度改革の動向に関する理解を喚起する。</p> <p>第2回：学校の歴史的起源と学びの営みの制度化 学校の歴史の本質を理解し、今日の学校問題への意識の明確化に努める。（目標(1-2)-1)）</p> <p>第3回：西洋における教育制度の形成と特質 西洋における公教育の原理及び理念に関する基礎知識を習得し、国際比較の視点を養う。（目標(1-1)-1)）</p> <p>第4回：日本における近代公教育制度の成立と特質 戦前日本における近代公教育制度の成立と特質を理解する。（目標(1-1)-1, 3)）</p> <p>第5回：戦後日本における現代公教育制度の成立と展開 戦後教育改革の動向を理解し、憲法・教育基本法制下の福祉国家型教育制度の原理と特質について理解する。（目標(1-1)-1, 2, 3)）</p> <p>第6回：新自由主義国家型の教育改革の展開 1980年代中葉以降における規制緩和と民営化の教育改革の動向を理解する。（目標(1-2)-1, 2, 3)）</p> <p>第7回：教育委員会制度の歴史の変容 戦後教育改革から今日の教育改革における教育委員会制度の変容を概観し、日本の教育行政の特質と課題を理解する。（目標(1-1)-2, 3, 4, (1-2)-4)）</p> <p>第8回：開かれた教育課程とPDCAマネジメントサイクル 生涯学習社会の構築における学校の使命と開かれた教育課程経営、特にPDCAに基づく学校及び学級経営と開かれた教育課程の課題について理解する。（目標(1-2)-2, (2)-1, 2)）</p> <p>第9回：学校評価と情報の積極的な提供 生涯学習社会づくりのためには、学校教育活動に関する評価と情報の積極的な提供の必要について理解する。（目標(1-2)-2, 3, (2)-1, 2)）</p> <p>第10回：開かれた学校とチーム学校づくり 開かれた学校づくりには保護者・地域との連携協働を推進する組織的な対応としてのチーム学校づくりに向けた教職員及び保護者住民、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、部活指導員、学校支援地域本部等との連携協働づくりが必要であることを理解する。（目標(1-2)-4, (2)-1, 2)）</p> <p>第11回：主体的で対話的な深い学びと学校経営づくり 子どものアクティブラーニングを推進する観点から開かれた教育課程経営づくりの工夫について理解する。（目標(2)-2)）</p> <p>第12回：学校安全への対応と学校保健安全法に基づく危機管理 学校保健安全法に基づく学校安全の目的と具体的取組を理解する。（目標(3)-1, 2)）</p> <p>第13回：学校の安全管理及び安全教育の課題と具体的対応策 安全管理及び安全教育の課題と具体的な取組について理解する。（目標(3)-1, 2)）</p> <p>第14回：諸外国の教育改革の動向と特質</p>

	<p>学力向上と教育統治改革をめざす諸外国の教育改革の動向を概観する。(目標(2)-1))</p> <p>第15回：生涯学習社会における教育制度改革の方向と課題</p> <p>21世紀の生涯学習社会の構築に向けて今後の教育制度改革の方向と課題について理解する。(目標(2)-1))</p> <p>第16回：試験</p>
学生に対する評価	<p>中間試験20%、期末試験80%で総合的な評価を行う。</p> <p>(成績評価の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間試験、期末試験の総合評価で行う。</li> <li>・ 総合評価が60点以上を合格とする。</li> </ul> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、授業またはオフィスアワー時に、口頭または書面にてコメントする。</p>
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞等を通して教育問題の現状について周知するよう日常的に努める。</li> <li>・ 自己の学校教育の思い出を振り返り、思い出を通して教育制度の在り方について自ら考える意欲・態度・力の育成に努めること。</li> </ul> <p>事後学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の配布資料に基づいて授業内容を振り返り、要点やまとめを確認しメモしておくこと。</li> <li>・ 授業内容について友人、知人等とコミュニケーションし、自分なりに、ひろく、ふかく、わかりやすく理解することに努めること。</li> <li>・ それぞれの教育問題について自分の考えをまとめて表現する練習に努めること。</li> </ul>
テキスト	<p>テキスト：自作の教材を授業において適宜配布する。</p>
参考書・参考資料等	<p>参考書：必要に応じて適宜授業中に提示、紹介する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>(履修上の注意事項及び教室外における準備学習などの指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前・事後学習に努めること。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>毎週火曜日 13:00～14:30</p>